

見出し、レイアウト、写真トリミング

新聞作り楽しく学習

関大北陽中で2年生130人

NIE（新聞を活用した授業）の実践に取り組んでいる関西大学北陽中学校（大阪市東淀川区）で9日、本紙整理部の阪本武史次長が出前授業をおこなった。新聞製作の基本やテクニックなどを解説、約130人の2年生の生徒が写真トリミングのワークショップなどに取り組んだ。



同校では大学と中学との連携授業として、NIEの一環で関西大学の理工系研

究室へ取材をし、2学期中に記事を執筆して新聞を仕上げる実践を計画。8日には、本紙の記者経験者が取材の方法や記事の書き方などを解説した。この日は阪本次長が新聞のレイアウトや専門用語を解説。その後、生徒らが昨年の熊本地震の記事に実際に見出しをつけて発表し、

阪本次長が次々に講評して取って、なぜその部分を選んだのかを生徒が発表し、写真を体験。阪本次長の指導を受けながら広い範囲で見た。見出しつけて発表した前にも自信がつかまりました」と話していた。



写真のトリミングに挑戦する生徒たち―大阪市東淀川区の関大北陽中学校